



心電図マスタアプリ



ユーザー講習会を振り返って

形状ではなく定義で読む

「モニター心電図と12誘導心電図の役割（の違い）」「なぜ読めるようにならないか」を解説しました。

用語の定義は、「心静止」「心停止」「不整脈」「HR（ハートレート）」を押さえました。

心電図を読む順番、形状ではなく定義で読むこと！ は、特に強調しました。

QRSを同定する

まずLevel 1 からスタートです。

心停止状態の傷病者の心電図について、電気ショックの適応を判断します。

心停止状態の傷病者の心電図は、「心静止」「心室細動」「心室頻拍」「PEA（パルスレス・エレクトリカル・アクティビティー）」の4つに分類されることを確認し、波形を次々に読んでいきます。電気ショックの適応はあるか？

「はい」 or 「いいえ」の2択です。

急遽作成した「フローチャート」も活用しながら、電気ショックの適応を判断していきます。

その中で、QRSの意味を知り、自動能をふまえてQRSを同定できるようになることが、Level 1 の目標です。

なぜならば、Level 2 の基本調律の判読フローチャートの、最初の質問が、QRSはあるか？ ないか？ だからです。

QRSの有無を判断できれば、フローチャートを使って、基本調律を判読することの道が開けます。



16種の基本調律を判読する

Level 2 は16種類ある基本調律の判読です。

特訓モードを使って、洞調律と15種類の不整脈を確認していきます。心電図の波形を覚えようとするのはダメで、定義で読むことを徹底的に指導しました。

加えて、心電図を判読する上で重要なテクニックである、5mm方眼（ポーズボタンで表示されるグリッド）を使ってハートレートを判断することにも力を入れました。

これらの知識を携えて、Level 2 判読を全体で進めていきます。すると、受講生の目の色が、どんどん冴えてくるのを感じました。いけるかも！ と感じました。

文章で紹介すると短いですが、ここが山場で60分を費やしました。受講生も疲れたと思います。

期外収縮がわかると面白くなる

続いて期外収縮の判読です。

期外収縮は、上室性と心室性に分類され、心室性はさらに、心室期外収縮、R on T型心室期外収縮、ショートラン、多源性心室期外収縮の4種類に分類されることを確認して、基本調律の判読→期外収縮の判読の順に進めました。

Level 3 では、期外収縮が含まれることによって、基本調律の判読の難易度が上がり、ゲームのように「面白い」と感じられたのではないかと思います。





仕上げの連続トライアル10問チャレンジ

まず、各自のスマホの音量を「入り」にします。
各自が、問題にチャレンジします。会場内には正解の「ピンポン」と、誤答の「フォワン・フォワン・フォワ〜ン」が入り乱れて鳴り響きます。
真剣勝負です。
5分ほどして、最初にクリアした人が出ました。そして次から次へと10問クリアの人が続きました。
残り時間が少なくなってきたところで、まだクリアできていない人をマンツーマンでサポートしました。

フローチャートを確認して、慌てないで、ポーズをかけてチェックして、などのアドバイスにより、さらに4名の方がクリアし、全員クリアとなりました。

おわりに

我ながら、良い講習会ができたと思いました。
講習会では、モニター心電図を読めるようになることを最大の目標にして進めました。
みなさん、読めるようになったと思います。
しかし、それぞれの不整脈の臨床的意味を知り、治療や現場での判断に活かすことが最も重要です。
引き続き精進してください。と締めました。
受講生の皆様には、アンケートにもご協力いただき、貴重なご意見をいただきました。
今後の研修会、アプリの改良などに活かしてまいります。
皆様の、ますますのご活躍を祈念いたします。

Support Book 研究会
代表 大河原治平

救急の現場で役立つ！

心電図判読スキルアップ講習会

～出前講習会のご案内～

近代消防社／Support Book研究会

モニター心電図を読めるようになる「救急の現場で役立つ！心電図判読スキルアップ講習会」は、「心電図マスターアプリ」の編著者である大河原治平が講師を務めます。救急現場で最も重要な初期評価の一つが「心電図判読」です。

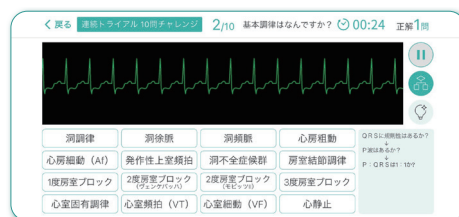
しかし、多くの救急隊員・救急救命士が苦手意識を持つ分野でもあります。判読力の不足は、心室細動や心室頻拍などへの迅速な対応にまでも影響を及ぼします。そこで本講習会では、現場で役立つ「判読のコツ」を実践的に学んでいただきます。さらに、アプリを活用した継続的学習に繋げることで、研修効果を持続させていただきたいと考えております。

講演内容・プログラム例

- ・16の基本調律と5の期外収縮の定義
- ・実際の心電図波形を用いた参加型演習
- ・心電図マスターアプリの活用法
- ・質疑応答・まとめ

消防本部様のメリット

- ・研修直後から判読力向上を実感
- ・研修コストの効率化
- ・外部専門講師の活用により、教育担当者の負担を軽減
- ・正確な心電図判読が早期治療へと直結



所要時間 3～4 時間程度・料金 5 万円～（要ご相談）
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 近代消防社

TEL (03) 5962-8832 E-mail twit@ff-inc.co.jp

